

第2期 第7回

大平建築塾2011

日程 8月6日(土)~8月8日(月)

場所 長野県飯田市大平宿



1、2、3、4、5、、、、、、38、39、40、41!

一斉離村から41年目、新たな大平宿の出発をむかえる…

内容

今こそ大平宿で
日本の生活文化を見つめよう

- ・大平の民家を守る建物調査体験、周辺整備
- ・大平宿の民家見学、スタッフによる解説
- ・民家で宿泊、薪割り、竈と囲炉裏でご飯づくり
- ・飯田市の水源取水口まで歩こう早朝ツアー など

定員

100名 (先着順にて受付します)

参加費

3日間参加 一般15,000円 学生10,000円 小中学生5,000円
2日間参加 一般12,000円 学生 8,000円 小中学生4,000円

申込方法

<http://sb-jin.seesaa.net>

上記ホームページ掲載の参加申込フォーム / E-mail / FAX
いずれかの方法でお申込みください。

申込締切 7月25日(木)

問合せ

大平建築塾2011事務局 (梅田・中村 もば建築文化研究所内)
TEL/FAX 03-6324-5801
E-mail oodairakenchiku@gmail.com



「大平宿」は、飯田市(伊那街道)と中山道をつなぐ大平街道の中間地点に位置し、宝暦年間(江戸中期)から宿場と木炭の生産地として栄えた宿場町です。その後、鉄道の開通に伴いその役割を終え、昭和45年に一斉離村となりました。

無住の里となった後、地元有志らによる大平宿の保存運動が始まり、昭和51年「大平宿をのこす会」が設立され、昭和57年「大平保存再生協議会」により「大平憲章」が制定され、平成3年度に始まった飯田市の「ふるさとづくり特別対策事業」の結果、9棟の民家が改修されました。

平成22年2月、大平宿周辺は、飯田市の水源地及び自然環境と、江戸・明治期に建てられた民家を保全するために「準都市計画区域」に指定され、新たな保存再生の動きが始まりました。

「大平建築塾」は、民家を積極的に活用し、大平宿の保存を語り続けようという趣旨により、生活文化同人の主催によって、平成6年から、年に1回開催されることになり、平成23年で通算18回目となります。(平成16年から第2期として再スタートしました)

大平建築塾では、民家での宿泊や、竈と囲炉裏での炊事体験と共に、周辺整備、障子の貼替えを行いながら、大平宿の生活環境と保存活用の経緯を学び、大平宿を通して日本文化・伝統技術を次世代伝えることの大切さについて語りあってきました。近年の大平建築塾では、建物実測や、柱の傾き・不同沈下等の破損調査を行い、のこす会や飯田市への報告をいたしました。

今年の大平建築塾では、現在の民家を保存していくための周辺環境整備、修復手法について考えます。この夏、大平宿の囲炉裏端で語りましょう。

主催 生活文化同人

共催 NPO法人大平宿をのこす会

協力 飯田市